



平成 27 年 5 月 12 日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
 会 社 名 健康コーポレーション株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 瀬戸 健
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシヤス
 問合せ先 取 締 役 香西 哲雄
 電 話 番 号 03-5337-1337
 U R L <http://www.kenkoucorp.co.jp/>

平成 27 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期において、平成26年5月23日に公表いたしました平成27年3月期通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	37,062	2,018	1,931	1,153	9 円 34 銭
実績値 (B)	39,101	2,108	1,946	1,636	13 円 26 銭
増減額 (B) - (A)	2,039	89	14	483	
増 減 率 (%)	5.5	4.5	0.8	41.9	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	23,910	1,127	1,303	2,698	21 円 86 銭

(注) 当社は平成 27 年 1 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の株式分割、平成 27 年 5 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値と実績値との差異
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,656	1,006	978	586	4 円 75 銭
実績値 (B)	12,586	1,128	1,193	857	6 円 94 銭
増減額 (B) - (A)	929	122	215	270	
増 減 率 (%)	8.0	12.2	22.1	46.1	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	9,129	993	988	1,794	14 円 54 銭

(注) 当社は平成 27 年 1 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の株式分割、平成 27 年 5 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

3. 差異の理由

(1) 通期（連結）

平成 27 年 2 月 12 日に中期経営計画「COMMIT 2020」を策定し、平成 29 年 3 月期の連結売上高 1,000 億円、営業利益 100 億円、平成 33 年 3 月期の連結売上高 3,000 億円、営業利益 350 億円の数値目標を公表いたしました。「COMMIT 2020」の達成に向けて今後飛躍的な成長を果たすために、当連結会計年度は第 4 四半期連結会計期間におきまして、次年度に向けた広告宣伝活動に積極的に投資を行いました。

RIZAP 株式会社が運営するパーソナルトレーニングジム「RIZAP（ライザップ）」においては前第 4 四半期連結会計期間の 2 倍以上、第 3 四半期連結会計期間の約 5 倍となる 13 億円近くの広告宣伝費を積み増しいたしました。中でも赤井英和氏を起用した TVCM は多くの反響があり、平成 27 年 1 月に問い合わせ件数の過去最高を達成し、その後の月間売上高及びご利用人数の過去最高を更新いたしました。当社通販事業においても前第 4 四半期連結会計期間の 2 倍以上、第 3 四半期連結会計期間の 1.2 倍となる 4 億円以上の広告宣伝費を積み増しいたしました。

このように大幅な先行投資を行ったにも関わらず、通期業績は当初予想を上回る着地となりました。これは、収益性が大幅に向上した結果であります。

平成 27 年 3 月期の当社グループの売上高、営業利益、経常利益の差異は、主に RIZAP 事業の業績が計画を上回る伸長をしたことによるものであります。

当期純利益の差異は、主に前述の RIZAP 事業の業績の伸長に加えて子会社株式売却益 505 百万円を計上したことによるものです。

(2) 通期（個別）

平成 27 年 3 月期の当社の売上高、営業利益、経常利益の差異は、主にグループ会社へのプロモーション事業の業績が計画を上回る伸長をしたことによるものであります。

当期純利益の差異は、主に前述のグループ会社へのプロモーション事業の業績が計画を上回る伸長をしたことに加えて子会社株式売却益 366 百万円を計上したことによるものです。

以 上